PRESS RELEASE

2024/1/4
九州朝日放送
総合編成局 編成戦略部

視聴率速報

2023年間 個人2冠・世帯3冠！！

KBC 九州朝日放送は、2023年間（2023年1月2日～2023年12月31日）北部九州地区において、個人全体視聴率 2 冠、世帯視聴率 3 冠を獲得しました。個人全体 2 冠（全日・ノンプライム）は、4年連続、世帯 3 冠（全日・プライム・ノンプライム）は2年ぶりの獲得になります。各時間帯の平均視聴率は以下の通りです。

■個人全体視聴率 2冠 ＊4年連続

06時～24時	「全日」	3.9% 1位
19時～22時	「ゴールデン」	5.7% 2位
19時～23時	「プライム」	5.8% 2位
23時～25時	「プライムⅡ」	2.3% 2位
06時～19時＆23時～24時	「ノンプライム」	3.3% 1位

＊ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

■世帯視聴率 3冠 ＊全日・プライム・ノンプライムの3冠は2年ぶり

06時～24時	「全日」	6.8% 1位
19時～22時	「ゴールデン」	9.7% 2位
19時～23時	「プライム」	10.0% 1位
23時～25時	「プライムⅡ」	4.3% 2位
06時～19時＆23時～24時	「ノンプライム」	5.9% 1位

＊ビデオリサーチ調べ（北部九州地区）

ゴールデン ・プライム帯では「報道ステーション」(6．6%)が同時間帯1位の高視聴率をマークしたうえ、連続ドラマでは「相棒＜1月クール＞」(8．5%)が高視聴率を獲得。「警視庁アウトサイダー＜1月クール＞」(6．6%)、「特捜9＜4月クール＞」(6．7%)、「木曜ドラマ・ハヤブサ消防団＜7月クール＞」(5．6%)も堅調な視聴率をマークしました。バラエティ番組では「ナニコレ珍百景」(6．1%)が同時間帯2位、「ポツンと一軒家」(8．9%)が同時間帯1位を獲得するなど、日曜ゴールデン帯2番組が好調をキープしているほか、 「くりぃむクイズミラクル9」(5.7%)、「ザワつく！金曜日」(5．4%)が同時間帯2位をそれぞれ獲得し、水曜と金曜のゴールデン帯番組も好結果を残しました。土日レギュラー番組では「朝だ！生です旅サラダ」(4．9%)、「サタデーステーション」(6．4%)、「サンデーステーション」(6．3%)等が同時間帯1位を獲得。またスポーツ単発番組では、3月16日(木)「2023ワールドベースボールクラシック・日本×イタリア」(34．6%)が歴代1位の高視聴率をマークしたほか、9月2日(土)放送の「FIBAバスケットボールW杯2023順位決定戦・日本×カーボベルデ」(16.3%)も高視聴率を獲得しました。

全日帯ではKBC自社制作番組の「アサデス。KBC」(PART1／4．5%・PART2／7．6%)が同時間帯1位を獲得。また後枠の「羽鳥慎一モーニングショー」(4．9%)も同時間帯1位をマークするなど、好調な平日午前帯が全日帯を牽引しました。日曜正午の旅バラエティ番組「前川清の笑顔まんてんタビ好キ」(5.0%)も同時間帯1位を獲得し、引き続き好調をキープしています。女性お笑いグループ“ぼる塾”が出演する木曜深夜の人気番組「ぼる部屋」(2．0%)も同時間帯1位を獲得し、視聴者からの支持を得ています。

【写真】「アサデス。KBC」(左)宮本啓丞アナウンサー (右)徳永玲子